

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年4月20日(2017.4.20)

【公表番号】特表2017-505002(P2017-505002A)

【公表日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2016-536553(P2016-536553)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

B 6 0 Q 3/00 (2017.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 E

B 6 0 R 11/02 Z

B 6 0 Q 3/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- カメラ(1)と、  
 - 光(h, o, p)を照射するための照明光源(3)と、  
 - 該照明光源から照射された光がそこから光面(s)として出力される拡散手段(6)と、  
 を備える、窓ガラス(2)上にある雨を検知するための装置であって、  
 - 前記照明光源から照射され、前記拡散手段を介して前記窓ガラス(2)に当たり、該窓ガラスで反射される光(r1, r2)のシグナルを前記カメラ(1)が捕捉できるように、前記カメラ(1)、前記照明光源(3)、及び前記拡散手段(6)が構成され、且つ、配置されており、  
前記カメラが、前記窓ガラスの内側面(2.1)で反射した前記光面(s)の第一鏡像と、前記窓ガラスの外側面(2.2)で反射した前記光面(s)の第二鏡像(i2)とを捕捉できることを特徴とする、装置。

【請求項2】

前記カメラ(1)によって捕捉できる前記第一鏡像(i1)及び前記第二鏡像(i2)が、互いに重なり合わないことを特徴とする、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記光面(s)が、前記拡散手段に、或いは、前記拡散手段上に、或いは、前記拡散手段の前方に設けられたアパーチャによって制限されていることを特徴とする、請求項1又は2に記載の装置。

【請求項4】

前記拡散手段(6)が、拡散フィルムであることを特徴とする、請求項1から3のうち何れか一項に記載の装置。

【請求項5】

前記光面(s)の鏡像(i1, i2)が、前記カメラ(1)にピン트가ぼやけた状態で結像されるように、前記カメラ(1)が、レンズを用いて遠距離領域に焦点合わせされていることを特徴とする、請求項1から4のうち何れか一項に記載の装置。

**【請求項 6】**

前記照明光源(3)が、ハウジング(5)内に配置され、且つ、前記拡散手段(6)が、前記ハウジングの切り欠き部に配置されていることを特徴とする、請求項1から5のうち何れか一項に記載の装置。

**【請求項 7】**

前記カメラ(1)が、視野制限用ファンネルを備え、前記拡散手段(6)が、前記視野制限用ファンネルに配置されている、或いは、前記視野制限用ファンネル内に内蔵されていることを特徴とする、請求項1から6のうち何れか一項に記載の装置。